

## Anti mouse GLP / Ehmt1 mouse monoclonal antibody

GLP: Euchromatic histone-lysine N-methyltransferase 1

製品コード PP-B0422-00

Clone No. B0422

Lot. A-2

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

Ig class G2a

Genbank AB205007

**由来** マウスGLP (134-234 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

**Epitope**

**特異性** マウスGLPと特異的に反応する。ヒトGLPと交差反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。

**精製法** 硫酸塩析法

**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)

**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

**Western Blot** 可  
参考使用濃度 0.5  $\mu$ g/mL

**非還元 Western Blot** 未検討  
参考使用濃度 -

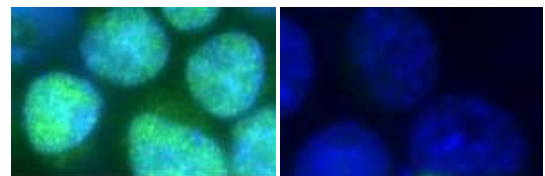
**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.1  $\mu$ g/mL

**免疫沈降** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度 -

**クロマチン免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -

**免疫染色** 可  
参考使用濃度 5  $\mu$ g/mL



WTマウス  
ES細胞  
(陽性)

GLP KOマウス  
ES細胞  
(陰性)

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Tachibana, M. *et al.* Genes Dev, 2005; 19(7): 815-26.

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Sep 18, 2014